

アナグリフ・ステレオ表示

構成：

- アナグリフステレオ 3D メガネ (厚紙やプラスチック)
- 使用中の TNT 用 PC、モニタ、ディスプレイボード



特徴：

古くからある立体視の方法の1つ。その簡素さから今なお価値を持っています。アナグリフによるステレオレンダリングは特別なコンピュータ機器を必要とせず、画素表示が安定した最新のデジタルフラットパネルモニタ上でも良好です。左右の画像には異なる色が重なっていて、対応する色の

フィルタがついたメガネをかけて見ます。軽いアナグリフ用メガネは厚紙やプラスチックを切り抜いて作れます。メガネをコンピュータに接続する必要がなく、見る位置や角度を選ばず画面全体を見ることができます。

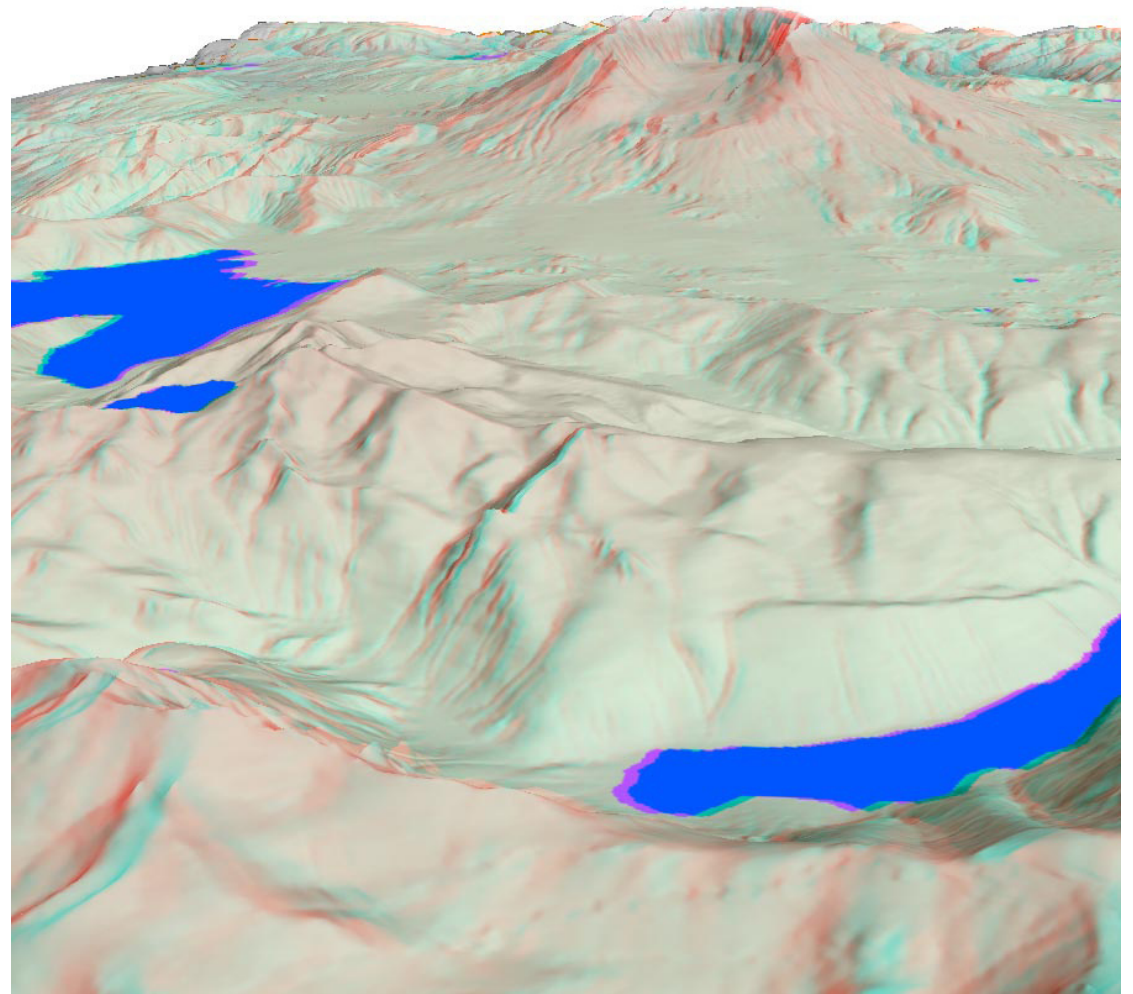
アナグリフを使ったステレオ表示は低コストで持ち運びやすく、配布に適しています。アナグリフメガネはモニタでの立体視ばかりでなく、教室等でのスクリーンへの投影やカラー印刷物のステレオ画像に使用できます。厚紙のアナグリフメガネは大量に安く調達できるので教室など人数の多い場合に向いています。低コストのため、アナグリフステレオ 3D 画像を含む TNTAtlas を CD や DVD に入れてアナグリフメガネと一緒に配布することもできます。

長所：

- ほんの少しのコストで、ステレオ画像が可能です。
(画素が分離独立していて一定の周波数を持つフラットパネルモニタは 3D 画像に最適です)
- ディスプレイのフル解像度を使えます (インターリーブ画像ではありません)。
- 中程度の眼精疲労。目への負担はステレオスコープを使用したときとほぼ同じ。
- メガネをかけることによって複数の人がスクリーン上のステレオ画像を見ることができます。
- ステレオ画像を配布用に印刷して立体視に使えます。

短所：

- 画像の色がメガネのカラーフィルタにより変化します。グレースケール画像に最適です。
- 赤緑の色覚異常の人には立体視できません。



高解像度のオルソ (正射) 画像やデジタル標高モデルは現在広く入手可能です。TNTmips や TNTedit、TNTview、TNTAtlas で高品質なステレオ表示が可能であり、2次元や3次元での鳥瞰図表示のパワーを増強します。ステレオ表示は、直接フィールド調査を行うには費用や時間がかかたり危険を伴う場合に、地上の状態や特徴を調べ図化するのに効果的です。ステレオ表示はまた、地表面とその下の構造の3次元的空間関係を明らかにするのに効果的です。ステレオ表示は TNTmips および TNTedit の空間エディタで利用でき、2D ウィンドウでの地理データの編集作業をアシストします。